

第2回 緑のある地域づくり講座 in 向山


かわら版

街路樹を始めとした地域のみどりや花を、地域の皆さんと一緒に守り育て、いっそう魅力ある街並みをつくっていく・・・
 そのための第一歩として、富士見台で講座を開催しています。この「かわら版」では、第2回の様子をお届けします。

—地域の緑の理想を語ろう— 2020.2.20 (木) 18:30~20:00 講師 松井 章泰氏

2回目を迎えた本講座。今回は20名の方とともに地域の問題について考え、地域の理想について語り合いました。
 前回に引き続き、講師を務めていただいたのは市民協働のスペシャリスト、公益財団法人日本花の会 松井 章泰氏。
 「心が共鳴する」者同士を集めることの大切さなど、今回も珠玉のお話が満載でした。

①はじめに



まずはじめに、講座の開催目的や今後の事業の方向性について、説明しました。また、今回の講座が初めての方もみえるため、前回の講座も振り返りました。

②講話 (ふるさとの桜と街の再生)




松井さんのふるさと・新城市の「秋のさくら祭り」での事例を中心に、100万本の桜プロジェクトでの苦労や「発想を転換する」考え方、そして小さな取組みが徐々に波及し、多くの仲間が集まりながらプロジェクトが一大事業となった経緯などを紹介していただきました。

③地域の緑の理想を語ろう (グループワーク)


前回の講座で意見を出し合った「向山の困りごと」をもとに、グループワークを実施しました。
 「向山がこんなふうになったらいいな」という理想の姿を考え、その姿を実現させるために「無理なく」「楽しく」自分たちにできることを書き出して、グループ内で意見交換。
 理想は高く広く、緑の問題に限らない幅広い話題が集まった結果、各グループの特色が表れた想いのこもった熱い発表が行われました。

意見の書き出し → 意見の共有 → 意見のまとめ → 発表



④グループワーク講評

松井さんから各グループの発表について講評の言葉をいただきました。
 参加者それぞれの前向きな意見を受け、松井さんから理想の富士見台に向けて活動する皆さんの背中を押す「エール」が送られました。



第3回目は舞台を公園に移し、講師を木村裕重さん、嘉子さんにバトンタッチします。
 テーマは「樹木のカリスマ美容師になろう」など。実践的かつ体験型の内容をお送りします。